

2.7.3. 教育活動概要

(a) 卒業論文概要

該当なし

(b) 博士(前期)論文概要

下川原 健	<p>農産物産地直売所を対象とした生産者間協調による入荷・販売計画作成システムの開発と評価</p> <p>産直では、各生産者が主体となって流通および販売活動を行っているため、流通経費の削減や鮮度の高い商品の提供が可能である。一方で、消費者のニーズは、輸入農産物の規制緩和による食の多様化などにより旬の時期に関わらず広がっており、旬の前後で供給不足、旬のピークで供給過多が発生している。特に産直では、卸売市場のような需給調整の機能がなく、消費者との繋がりが高いために消費者ニーズ変動の影響を受けやすい。さらに、生産者が数量や価格の意思決定主体となることから、産直全体として消費者ニーズに対応することが難しい。</p> <p>本研究では生産者間で情報を共有し、計画的に供給を調整する仕組みとして産直全体の販売計画の立案方法を提案する。これにより、販売戦略と調整を図り、生産者の協調と競争の意識を向上させていくことが期待される。そのため、まず産直における販売計画モデルを提案する。本モデルでは、産直全体の販売戦略を販売方針として生産者個人の戦略に反映させるとともに、各生産者の生産計画（入荷計画）からボトムアップで販売計画を立案する仕組みを提案する。次に、本モデルに基づいて3つの機能を持つ入荷・販売計画作成システムを構築する。</p> <p>構築したシステムを事例対象とする産直において運用を行う。そして、アンケート調査や運用から得られたデータを分析することで、産直における販売計画と入荷計画作成の効果と問題点について考察する。</p> <p>構築したシステムは、2009年4月より対象産直において運用を開始している。運用評価として、利用状況やシステムの導入前後での品揃えの変化についての分析を行い、得られた効果について考察を行った。その結果、入荷・販売計画作成システムの導入によって、産直における販売計画立案の課題を明らかにした。特に、売上規模が大きい生産者を中心に計画作成に対する意識の高さが見られたが、全体としては、計画作成に対する効果を享受できないことによる利用率の低下が示された。</p>
-------	---

(c) 博士(後期)論文概要

該当なし

(d) 講座所属学生が第一著者として査読ありの論文誌掲載論文一覧

特になし

(e) 講座所属学生が各学会で登壇発表した実績一覧

- 1) 芦野健太郎, 竹野健夫, 堀川三好, 菅原光政: 水産物を対象としたSCMに関する研究—消費地水産物流通における在庫削減への取り組み事例—, 日本経営工学会平成23年度春季全国大会予稿集, pp. 222-223, 2011/5
- 2) 川原啓輔, 高橋剛史, 植竹俊文, 堀川三好, 菅原光政: 乳製品サプライチェーンを対象とした業務支援システムの構築, 日本経営工学会平成23年度春季全国大会予稿集, pp. 154-155, 2011/5
- 3) 下川原健, 竹野健夫, 堀川三好, 菅原光政: 農産物における販売計画立案のための商品特性の分析, 日本経営工学会平成23年度春季大会予稿集, pp. 14-15, 2011/5
- 4) 鐘琳, 堀川三好, 菅原光政: 商店街における情報技術の活用に関する研究, 日本ロジスティクスシステム学会第14回全国大会予稿集, pp23-26. 2011/6

- 5) 芦野健太郎, 堀川三好, 菅原光政: 消費地水産物流通における業者間連携を考慮した SCM モデルの提案, 情報処理学会研究報告, Vol. 2011-IS-117, No. 10, 2012/8
- 6) 小林 拓也, 岡本 東, 堀川 三好, 竹野 健夫, 菅原 光政: 地域ポータルサイトの基盤づくりにおけるディレクトリ構築システムの提案, 情報文化学会講演予稿集 19, pp. 71-74, 2011/10
- 7) 佐々木丈, 植竹俊文, 堀川三好, 菅原光政: 個人観光における観光支援システムの構築, 情報文化学会第 19 回全国大会, 情報文化学会講演予稿集 19, pp. 84-87, 2011/10
- 8) 小野寺瞬, 岡本東, 堀川三好, 菅原光政: 幼稚園における業務改善の支援を目的とした情報システムの構築, 日本経営工学会平成 23 年度秋季研究大会予稿集, pp. 16-17, 2011/11
- 9) 鐘琳, 堀川三好, 菅原光政: 商店街における情報技術活用のフレームワークに関する研究, 日本経営工学会平成 23 年度秋季研究大会予稿集, pp. 188-189, 2011/11
- 10) 下川原健, 竹野健夫, 堀川三好, 菅原光政: 農産物産地直売所における入荷・販売計画作成システムの構築, 情報処理学会第 74 回全国大会予稿集, pp. 4-631-632, 2012/3
- 11) 川原啓輔, 植竹俊文, 堀川三好, 菅原光政: 家畜育成業務における育成管理システムの構築, 情報処理学会研究報告, Vol. 2012-IS-119, No. 5, 2012/3
- 12) 小林拓也, 岡本東, 堀川三好, 菅原光政: 地域ポータルサイトにおける情報配信支援システムの構築, 情報処理学会研究報告, Vol. 2012-IS-119, No. 8, 2012/3.

(f) 学生が単独で受けた受賞や表彰一覧

下川原健, 情報処理学会第 74 回全国大会学生奨励賞

2.7.4. その他の活動

(ゼミ内容)

社会的な視点から情報システムについて検討する演習では, 社会・経営などにおける情報システムの活用について考察する. 特に, システム化の対象業務や情報システムの構造をデータに着目して分析・設計する手法である DOA (データ中心アプローチ) の考えを取り入れ, 早期に業務要件を確立し, システム設計や情報システムの実装を行う.

ソフトウェアの設計や開発について技術的な取り組みを行う演習では, 対象とする情報システムの目的を明確化し, ビジネスフロー図やエンティティ関連図などに基づきソフトウェア設計を行う. さらに, 作成した設計書に基づきデータベースなどの実装を進めることにより, 実務的な能力の育成を目指している. また, 開発計画や経過をドキュメント化しプレゼンテーションすることにより, 作業全体の理解や基礎技術の蓄積に努めている. これにより, ソフトウェア設計や開発において, 多くの場合に必要となるプロジェクト管理能力も養う.